株式会社セキュアソフト、
サービス＆セキュリティ株式会社 代表取締役社長
姜 昇旭氏

（カン・スンウク）東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。2002年株式会社セキュアソフトを立ち上げ、代表取締役社長に就任。15年にはサービス＆セキュリティ株式会社の代表取締役社長を兼任。現在、株式会社セキュアソフトを含む2社の社長を兼務している。

対談

情報が価値を生む時代 狙われる企業のデータ

IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）、次世代高速無線通信「5G」など、進化を続けるIT（情報技術）が社会を変えようとしている。デジタルデータの価値が高まり、企業の情報資産を狙うサイバー攻撃のリスクは増大。いま企業はどのような防衛策を講じるべきだろうか。慶應義塾大学教授の村井純氏と株式会社セキュアソフト社長の姜昇旭氏が語り合った。

慶應義塾大学 教授
村井 純氏

（むらい・じゅん）工学博士（慶應義塾大学・1987年取得）。慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科委員長。1984年日本初のネットワーク間接続「JUNET」を設立。88年にはインターネット研究コンソーシアム「WIDE プロジェクト」を発足し、インターネット網の整備・普及に尽力。「日本のインターネットの父」等と呼ばれる。2013年「インターネットの殿堂（パイオニア部門）」入りを果たす。2019年2月、フランス政府から「レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ」を受章。セキュアソフト技術顧問。

保有データの価値に気付くことが第一歩——村井氏

つながりが変える社会 総合的な対策が必須に

村井　ITにより社会は劇的に変化しています。①インターネットの普及を前提にIoT対応機器が増えてきたこと②あらゆる産業分野でコンピューターが使われ、データが価値を持つ時代になったこと③データをつなげることで新たな価値を生み出そうとの動きが加速していること——などは特に注目すべき変化です。

姜　同感です。あらゆる業界でITが利用され、データが事業を動かすようになりました。小売店の店頭など様々なビジネスの現場で大切な情報があふれています。

村井　サイバー攻撃をたくらむ人にとって、IoT対応機器の増加は標的が増えることを意味します。自分が狙われるとは思っていない大多数のコンピューター利用者は格好のターゲットです。データ連携のつなぎ目は弱点を抱えやすい側面があります。こうした視点で安全なサイバー空間を確保しビジネスを成長させるには、幅広い領域をカバーできるトータルなセキュリティ対策が不可欠です。

姜　セキュリティの重要性に対する理解は進んでいますが、高度な対策製品の導入にとどまっています。企業の重要資産を守るためには即時性のある統合的・総合的な対策が必要です。

そこで当社とグループ会社のサービス&セキュリティ株式会社は、大阪にセキュリティオペレーションセンター（SOC）を開設しました。ここに次世代型の監視システムを導入し、総合セキュリティサービス「eIGate（イーゲート）」を提供。官公庁や金融機関、大手製造業など幅広いお客様にご利用いただいています。

センターでは顧客企業のシステムを24時間365日、有人監視しています。最新のAIなどを活用して迅速かつ高精度な攻撃検知を行い、的確な通知とサポートを実施しています。社内で選抜した優秀な人材を配置し、セキュリティスペシャリストとして育成しながら、問題発生時に即応できる態勢を整えています。

次世代IPS、DDoS対策
「SecureSoft Sniper ONE」

高度な脅威対策を提供 お客様の取り組みを支援

村井　データはつながることで価値を生みます。例えば小売業などのポイントサービスのデータは、POS（販売時点情報管理）データや他社のデータとつながることで、マーケティングの強力な武器となります。

データを価値に変えるためのコストも下がってきました。スマートフォンで撮影した高精細な画像・映像を蓄積・分析すれば、果物の甘みやコメの食味などの診断に活用することも可能です。

大切なことは、データに価値があり、つながっていることに価値があり、分析することに価値があり、それは自社にとっての価値であるという意識を持つこと。それに気付くのが遅れることこそ最大のリスクです。

姜　インターネットの商業利用が進んだ1990年代半ば、米国の大手金融機関がハッキングされて大金を盗まれました。そうした事件を受けて、民間企業でもサイバー攻撃への備えが必要だとの認識が広がりました。当時、狙われたのは主にマネーですが、現在は、マネーになる、あるいはもっと大きな価値を生む情報資産、データが狙われています。したがって、そのような重要情報資産が漏えいすることは企業の信用失墜や事業継承の危機をまねきかねません。そういう時代になったことを認識する必要があります。

村井　インターネットも電子メールも初めは価値が理解されませんでしたが、利用者が増え、そのメリットを実感できるようになったことで世界に広がりました。データも同様です。その価値に気付けば、自発的に大切なものを守るようになるでしょう。

具体的なセキュリティ対策では、データをいかに保護するかが鍵になります。専門家のアドバイスを受けながら、ネットワークや情報システムの守りを固めることが大切です。

先端セキュリティサービスで顧客企業の資産守る——姜氏

姜　当社はネットワークセキュリティに必要な機能を1台に集約した次世代IPS※1、DDoS※2対策「SniperONE」を提供しています。この製品と「eIGate」を組み合わせることで、より高度な可視化と詳細な脅威対策を実現しています。機器の提供のみならず、人材面でのサポートを行っているのが当社の強みです。また、自社で対策を実施したいという顧客には、SOCで育成したセキュリティスペシャリストを派遣するサービスも実施しています。

村井　セキュリティサービスの品質保証については、社会で共有できる契約項目などで明確に定めるようにすると、リスクとコストのバランスがうまく取れると思います。

姜　当社も様々なご要望にお応えしたいと考えています。ヒト＋モノ＋サービスのトータルソリューションの提供に加え、サイバー攻撃の変化のスピードに対応できる拡張性、自由度を持つフレッシュさこそ、当社の強みです。

村井　IT・デジタルデータの安心・安全な利活用を可能にする企業として、今後も存在感を増していくことを期待しています。

セキュアソフトのグループ会社サービス＆セキュリティ株式会社が運用を開始した次世代セキュリティオペレーションセンター（SOC）

※1　IPS（Intrusion Prevention System、不正侵入防止システム）
※2　DDoS攻撃（Distributed Denial of Service攻撃）

お問い合わせはこちらから！
TEL 03-5464-9966
E-Mail：sales@securesoft.co.jp
SSI：https://www.securesoft.co.jp/
SSK：https://www.ssk-kan.co.jp/

securesoft
株式会社セキュアソフト

SSK service+security
サービス＆セキュリティ株式会社

広告